



株主のみなさまへ

第149期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

Corporate Philosophy

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

Contents

目次

| | |
|-------------------|----|
| 株主のみなさまへ | 2 |
| 事業の概況 | 3 |
| エンシュウのグローバルネットワーク | 5 |
| トピックス | 6 |
| 連結事業別売上及び受注の状況 | 8 |
| 業績の推移 | 8 |
| 連結財務諸表 | 9 |
| 個別財務諸表 | 11 |
| 株式の状況 | 13 |
| 会社の概況 | 14 |



本社及び高塚工場



浜北工場

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済対策により雇用や所得環境は回復基調の動きが見られますが、企業収益や設備投資の先行きについては、為替相場の乱高下の影響や新興国経済の減速等により不透明な状況が続いています。一方、世界経済は、米国を中心に緩やかな回復が継続していますが、米国経済の先行きについては新政権の政策に関する不確実性が懸念されます。

このような情勢の中、当社グループは中国、北米、国内への拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門及び輸送機器関連事業部門ともに減少したことにより20,846百万円(前期比21.2%減)となりました。

損益につきましては、工作機械関連事業部門の売上減少及びシステム案件の採算悪化等により、営業損失は404百万円(前期は営業利益556百万円)、経常損失は726百万円(前期は経常利益176百万円)となりました。純損失は791百万円(前期は純利益66百万円)となりました。

2017年5月12日に「長期ビジョン、新中期経営計画」を発表いたしました。「お客様の期待に応え選ばれ続けるブランドになる」を経営ビジョンとして、2019年度売上高290億円、営業利益率5%を目標としております。初年度である2017年度は黒字回復を目指して全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく無配とさせていただきます。

平成29年6月



代表取締役社長 社長執行役員

山下晴央

Review Of Operations

事業の概況

平成28年4月1日から平成29年3月31日に至る当社グループ第149期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。



▲日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2016)

BH100VL



▲ホーニング機能付き 立型マシニングセンタ

工作機械・レーザー関連事業部門

日本工作機械工業会の2016年度の受注総額は前期比7.8%減の1兆2,893億円となり、2年連続の減少となりました。内需は前期比8.2%減の5,315億円、外需も前期比7.6%減の7,577億円となりました。

このような情勢の中、当事業部門におきましても昨年度は大型システム案件の減少により、中国向けが大きく落ち込んだため、対策として、国内の中小型システム案件、汎用機およびレーザー加工機の拡販を図りましたが、落ち込み分をカバーするまでには至りませんでした。

以上の結果、工作機械・レーザー関連事業部門の売上高は10,438百万円（前期比33.4%減）と大きく減少いたしました。また損益面につきましても売上高の減少とシステム案件等の採算が想定以上に厳しく、850百万円の損失となりました（前期は営業利益345百万円）。

しかしながら昨年より取り組んでいる営業強化策の効果もあり、国内と中国を中心としたお客様からの引合いは着実に増加しており、その効果が受注、受注残高といった数字にも表れはじめています。

昨年11月のJIMTOFで発表したホーニング機能付きマシニングセンタを海外も含め積極的に営業展開、今年9月にドイツのハノーバーで開催されるEMOショーには新たに開発したピストン加工機の展示など、エンシュウ独自の技術と商品を武器に今後も拡販に努めてまいります。

輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門につきましては、主力製品であります大型二輪車用部品の生産が減少しましたが、四輪車用部品では一部増産があり、全体では若干の売上減少に留めることができました。

損益面におきましては、ベトナム現地法人の生産が軌道に乗ってきた事と、固定費削減や生産性向上活動などの施策を継続的に推進した結果、営業利益は単体、連結共に増益となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は10,337百万円(前期比3.2%減)、営業利益は394百万円(前期比207.2%増)となりました。

今後につきましては、主力製品であります大型二輪車用及び自動車関連の仕事量が減少し環境はさらに厳しさを増しておりますが、引き続き新規顧客の開拓と新規部品の積極的に取り込みながら、生産性向上と品質向上、原価低減等の各種施策活動をさらにステップアップさせて、体質強化と売上確保、利益創出を図ってまいります。

そして、ベトナム工場を活用した最適生産体制を発展させ、グローバルにお客様にご満足いただける品質、価格、納期の提供ができるように努めてまいります。



▲ENSHU VIETNAM 工場



▲ENSHU VIETNAM 工場 ピストン加工工程

Glovel Net Work

エンシュウのグローバルネットワーク

工作機械の事業は、海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。

ENSHU GmbH



ENSHU (QINGDAO) LIMITED
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.

ENSHU(USA) CORPORATION



ENSHU Limited (Head Office)



ENSHU(QINGDAO) Limited
Suzhou branch Office



ENSHU Limited (Hamakita Factories)



ENSHU INDIA PVT Ltd.



ENSHU(Thailand) Limited
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.



PT. ENSHU INDONESIA



ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.



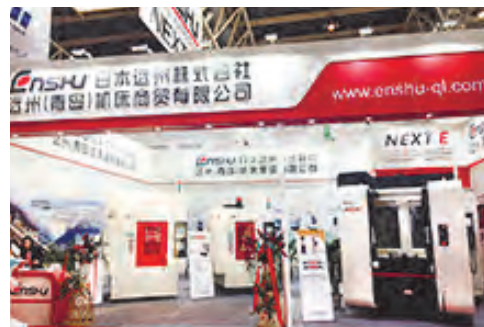
ENSHU USA CORPORATION
MEXICO R.O.W.I



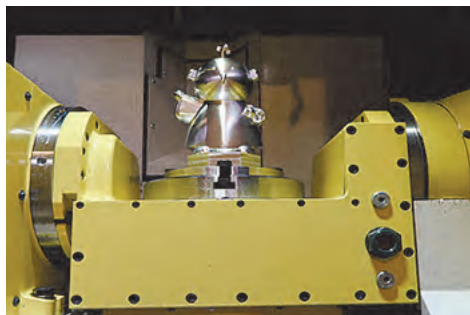
工作機械・レーザー関連事業部門

■CIMT2017に出展

2017年4月17日から22日の6日間、中国・北京にて中国国際工作機械展覧会 (CIMT2017)が開催されました。当社はGE480H、EV360Te、EV450Teを展示しました。出展メーカー、来場者も開催を重ねるごとに、最高を更新しております。生産性の向上に必要となる、高付加価値な日本製工作機械に対する関心も高く、多くの引き合いや問合せをいただくことが出来ました。



▲中国国際工作機械展覧会 (CIMT2017)



▲マシニングセンタWE30V(5軸仕様)



▲メタル家康くん

■メタル家康くん 浜松市「出世の館」に展示中

浜松市のマスコットキャラクターである「出世大名家康くん」を当社のマシニングセンタ“WE30V (5軸仕様)”で3次元加工したものが、浜松市「出世の館」に展示されております。新聞やSNSなど、各種メディアにも掲載されました。

工作機械関連において、主要なお客様である、国内、海外の自動車関連では、ニューモデルへの先行投資が活発になってきております。当社としてもシステム物件を中心に、多くの引合を頂いており、今後も受注獲得に努めてまいります。

レーザー関連事業については、ファイバーレーザー、半導体レーザーともに受注を伸ばすことができいております。浜北工場での生産も軌道に乗り、日系自動車関連を中心に国内だけでなく、海外工場にも多くの製品を納入することができました。

2017年5月、インドにも現地法人を開設しました。近年急成長している市場であり、すでに多くの納入実績があります。まずはサービス網の拡大に努め、販路の拡大に努めてまいります。



▲ENSHU INDIA PVT Ltd.



輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門では、当社製のマシニングセンタを柔軟に組み合わせて、お客様にご満足いただけるライン作りを行っております。

前期においては、大型船舶用ヘッドシリンダ加工ラインが順調に立ち上がり、さらに本年4月より、四輪エンジンの排気系部品加工の生産を開始しております。引き続き品質向上、原価低減活動の成果を着実に積み重ねて、仕事量の確保と利益の創出に努めてまいります。

また、ベトナム工場におきましては、日本国内で生産していた一部製品の移管が完了し生産を開始しました。さらにグローバルなものづくり体制を進めると共に、ベトナム国内だけではなく、中国・インド・台湾・タイといったアセアン各地への出荷を開始しております。

これからも継続してベトナム工場を活用した最適生産体制を構築していく中で、国内工場の生産再構築も進めてまいります。そして、日本とベトナムの連携を強化し、今後さらにお客様にご満足いただける品質と価格を実現できるように努力してまいります。



▲ヘッドシリンダ加工ライン

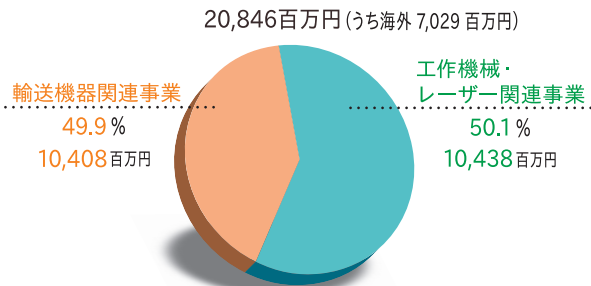


▲排気系部品加工ライン

Report

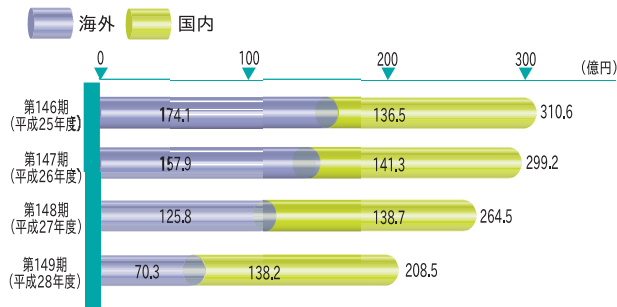
連結事業別売上及び受注の状況

事業別売上高 (平成28年度)

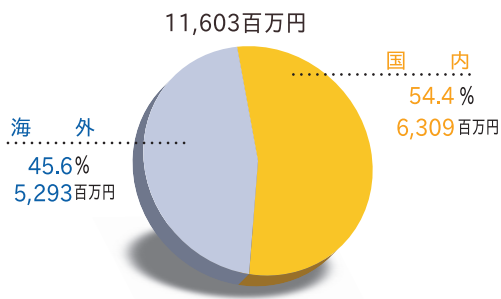


第146期～第149期 業績の推移

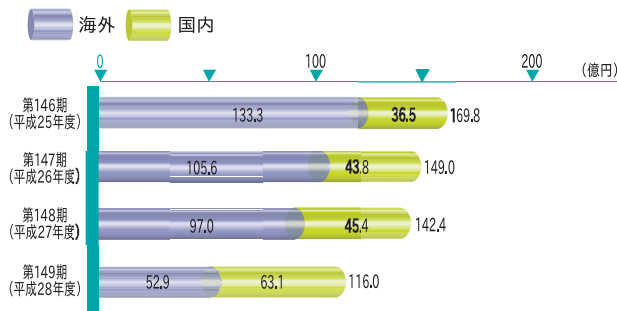
売上高



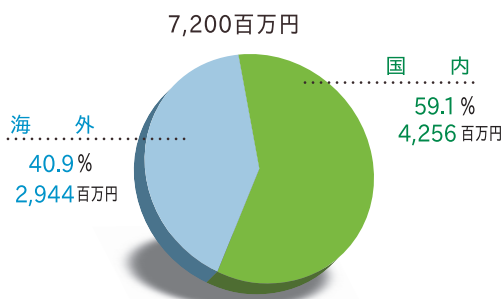
工作機械・レーザー関連事業の受注高 (平成28年度)



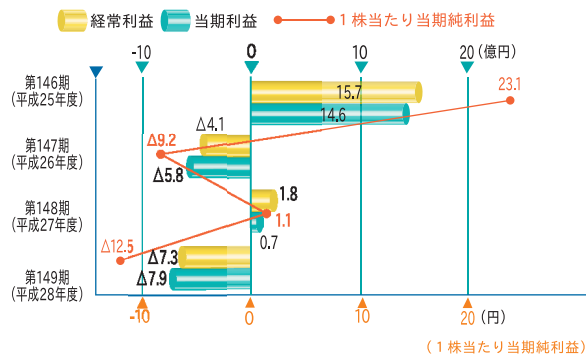
工作機械・レーザー関連事業の受注高



工作機械・レーザー関連事業の受注残高 (平成29年3月)



利益



連結貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

| 項 目 | 金 額 | 項 目 | 金 額 |
|-----------------|---------------|--------------------|---------------|
| ●資産の部● | | ●負債の部● | |
| 流 動 資 産 | 15,362 | 流 動 負 債 | 15,527 |
| 現金及び預金 | 2,735 | 支払手形及び買掛金 | 2,399 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,962 | 電子記録債務 | 1,271 |
| 電子記録債権 | 1,510 | 短期借入金 | 9,995 |
| 商品及び製品 | 2,862 | リース債務 | 80 |
| 仕掛品 | 2,870 | 未払法人税等 | 43 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,182 | 賞与引当金 | 218 |
| 繰延税金資産 | 87 | 資産除去債務 | 70 |
| その他 | 239 | その他 | 1,448 |
| 貸倒引当金 | △ 88 | 固 定 負 債 | 8,141 |
| 固 定 資 産 | 14,604 | 長期借入金 | 2,478 |
| 有形固定資産 | 14,159 | リース債務 | 76 |
| 建物及び構築物 | 2,829 | 再評価に係る繰延税金負債 | 1,563 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,598 | 役員退職慰労引当金 | 15 |
| 土地 | 7,387 | 退職給付に係る負債 | 3,814 |
| リース資産 | 29 | 資産除去債務 | 156 |
| 建設仮勘定 | 77 | その他 | 37 |
| その他 | 236 | 負 債 合 計 | 23,669 |
| 無形固定資産 | 155 | ●純資産の部● | |
| のれん | 10 | 株 主 資 本 | 3,424 |
| リース資産 | 118 | 資 本 金 | 4,640 |
| その他 | 26 | 資 本 剰 余 金 | 1,230 |
| 投資その他の資産 | 289 | 利 益 剰 余 金 | △ 2,379 |
| 投資有価証券 | 20 | 自 己 株 式 | △ 66 |
| その他 | 271 | その他の包括利益累計額 | 2,872 |
| 貸倒引当金 | △ 2 | その他有価証券評価差額金 | 2 |
| 資 産 合 計 | 29,967 | 土地再評価差額金 | 3,666 |
| | | 為替換算調整勘定 | 375 |
| | | 退職給付に係る調整累計額 | △ 1,171 |
| | | 純 資 産 合 計 | 6,297 |
| | | 負債及び純資産合計 | 29,967 |

連結損益計算書(要旨) 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

| 項 目 | 金 額 |
|---------------------|--------|
| 売 上 高 | 20,846 |
| 売 上 原 価 | 18,485 |
| 売 上 総 利 益 | 2,360 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 2,765 |
| 営 業 損 失 (△) | △404 |
| 営 業 外 収 益 | 92 |
| 営 業 外 費 用 | 413 |
| 経 常 損 失 (△) | △726 |
| 特 別 利 益 | 9 |
| 特 別 損 失 | 20 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △737 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 28 |
| 法人税等調整額 | 25 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △791 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

| 項 目 | 金 額 |
|---------------------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 982 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △486 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △852 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △59 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △415 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,017 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,602 |

連結株主資本等変動計算書 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

| 残高及び変動事由 | 株 主 資 本 | | | | |
|-----------------------------------|---------|-------|--------|------|--------|
| | 資 本 金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 平成28年4月1日残高 | 4,640 | 1,230 | △1,587 | △66 | 4,216 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | △791 | | △791 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目 の連結会計年度中 の変動額(純額) | | | | | |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | - | △791 | △0 | △791 |
| 平成29年3月31日残高 | 4,640 | 1,230 | △2,379 | △66 | 3,424 |

| 残高及び変動事由 | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産 合計 |
|-----------------------------------|------------------------------|--------------|--------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|
| | その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 土地再評 価差額金 | 為 替 換 算 調 整 勘 定 | 退 職 給 付 金 に 係 る 調 整 累 計 額 | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計 | |
| 平成28年4月1日残高 | 1 | 3,666 | 619 | △1,268 | 3,018 | 7,234 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | | | | △791 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目 の連結会計年度中 の変動額(純額) | 0 | | △244 | 97 | △145 | △145 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 0 | - | △244 | 97 | △145 | △937 |
| 平成29年3月31日残高 | 2 | 3,666 | 375 | △1,171 | 2,872 | 6,297 |



個別貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位: 百万円 百万円未満は切捨て)

| 項 目 | 金 額 |
|-----------------|---------------|
| ●資産の部● | |
| 流 動 資 産 | 13,360 |
| 現金及び預金 | 1,952 |
| 受取手形 | 185 |
| 売掛金 | 4,120 |
| 電子記録債権 | 1,510 |
| 商品及び製品 | 855 |
| 仕掛品 | 2,759 |
| 原材料及び貯蔵品 | 812 |
| 関係会社短期貸付金 | 1,178 |
| 未収入金 | 12 |
| 前払金 | 6 |
| 前払費用 | 28 |
| その他の | 13 |
| 貸倒引当金 | △75 |
| 固 定 資 産 | 15,680 |
| 有形固定資産 | 12,161 |
| 建物 | 1,966 |
| 構築物 | 174 |
| 機械及び装置 | 2,411 |
| 車両運搬具 | 16 |
| 工具、器具及び備品 | 169 |
| 土地 | 7,387 |
| リース資産 | 10 |
| 建設仮勘定 | 24 |
| 無形固定資産 | 144 |
| ソフトウェア | 25 |
| リース資産 | 118 |
| 施設利用権 | 0 |
| 投資その他の資産 | 3,374 |
| 投資有価証券 | 17 |
| 関係会社株式 | 389 |
| 出資金 | 0 |
| 関係会社出資金 | 1,379 |
| 関係会社長期貸付金 | 1,529 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 32 |
| 長期前払費用 | 10 |
| その他の | 17 |
| 貸倒引当金 | △2 |
| 資 産 合 計 | 29,041 |

| 項 目 | 金 額 |
|--------------------------|---------------|
| ●負債の部● | |
| 流 動 負 債 | 15,020 |
| 支払手形 | 328 |
| 買掛金 | 1,932 |
| 電子記録債務 | 1,271 |
| 短期借入金 | 9,995 |
| リース債務 | 75 |
| 未払金 | 592 |
| 未払費用 | 75 |
| 未払法人税等 | 20 |
| 未払消費税等 | 137 |
| 前受金 | 27 |
| 預り金 | 115 |
| 賞与引当金 | 218 |
| 設備関係支払手形 | 6 |
| 営業外電子記録債務 | 137 |
| 資産除去債務 | 70 |
| その他の | 14 |
| 固 定 負 債 | 6,962 |
| 長期借入金 | 2,478 |
| リース債務 | 73 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,563 |
| 繰延税金負債 | 0 |
| 退職給付引当金 | 2,638 |
| 役員退職慰労引当金 | 15 |
| 資産除去債務 | 156 |
| 長期預り保証金 | 35 |
| 負 債 合 計 | 21,982 |
| ●純資産の部● | |
| 株 主 資 本 | 3,391 |
| 資本金 | 4,640 |
| 資本剰余金 | 1,230 |
| 資本準備金 | 1,230 |
| 利益剰余金 | △2,412 |
| その他利益剰余金 | △2,412 |
| 繰越利益剰余金 | △2,412 |
| 自己株式 | △66 |
| 評 価・換 算 差 額 等 | 3,668 |
| その他有価証券評価差額金 | 2 |
| 土地再評価差額金 | 3,666 |
| 純 資 産 合 計 | 7,059 |
| 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 29,014 |

個別損益計算書(要旨) 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

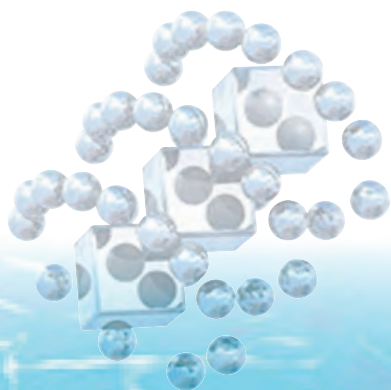
| 項目 | 金額 |
|--------------|--------|
| 売上高 | 19,005 |
| 売上原価 | 17,612 |
| 売上総利益 | 1,393 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,035 |
| 営業損失(△) | △642 |
| 営業外収益 | 154 |
| 営業外費用 | 381 |
| 経常損失(△) | △869 |
| 特別利益 | 3 |
| 特別損失 | 64 |
| 税引前当期純損失(△) | △930 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11 |
| 当期純損失(△) | △941 |

個別株主資本等変動計算書 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

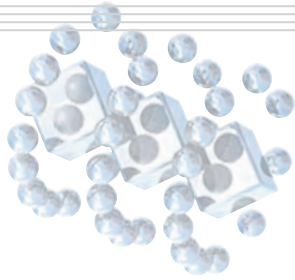
| 残高及び変動事由 | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|---------------------|-------------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金 合計 | | |
| 平成28年4月1日残高 | 4,640 | 1,230 | 1,230 | △1,471 | △1,471 | △66 | 4,333 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | |
| 当期純損失(△) | | | | △941 | △941 | | △941 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | | | | | | | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | △941 | △941 | △0 | △941 |
| 平成29年3月31日残高 | 4,640 | 1,230 | 1,230 | △2,412 | △2,412 | △66 | 3,391 |

| 残高及び変動事由 | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|--------------|----------------|-------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価 差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成28年4月1日残高 | 1 | 3,666 | 3,667 | 8,000 |
| 事業年度中の変動額 | | | | |
| 当期純損失(△) | | | | △941 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | 0 | | 0 | 0 |
| 事業年度中の変動額合計 | 0 | - | 0 | △941 |
| 平成29年3月31日残高 | 2 | 3,666 | 3,668 | 7,059 |



Stock Report

株式の状況



1. 株式の総数・資本金

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 150,000,000株 |
| 1単元の株式数 | 1,000株 |
| 発行済株式の総数 | 63,534,546株 (自己株式 454,097株を含む) |
| 資本金 | 4,640,850,000円 |

2. 大株主

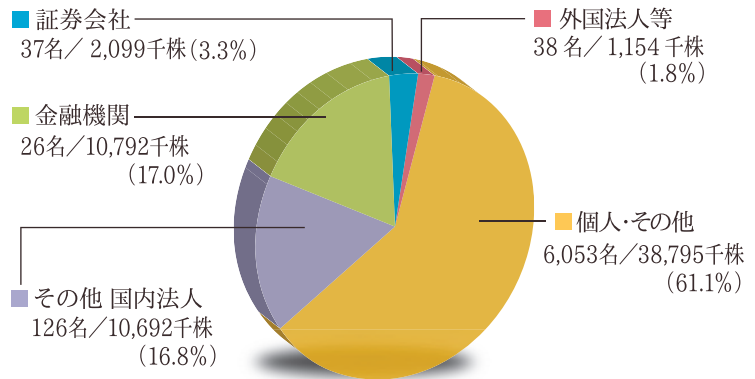
| | |
|----------------------------|------------------|
| ヤマハ発動機株式会社 | 6,457千株 (10.23%) |
| エンシュウ取引先持株会 | 6,379千株 (10.11%) |
| 浜松ホトニクス株式会社 | 2,000千株 (3.17%) |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,572千株 (2.49%) |
| みずほ信託銀行株式会社 | 1,455千株 (2.30%) |
| 株式会社りそな銀行 | 1,414千株 (2.24%) |
| 日本証券金融株式会社 | 1,108千株 (1.75%) |
| エンシュウ従業員持株会 | 1,028千株 (1.62%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 953千株 (1.51%) |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 846千株 (1.34%) |

(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

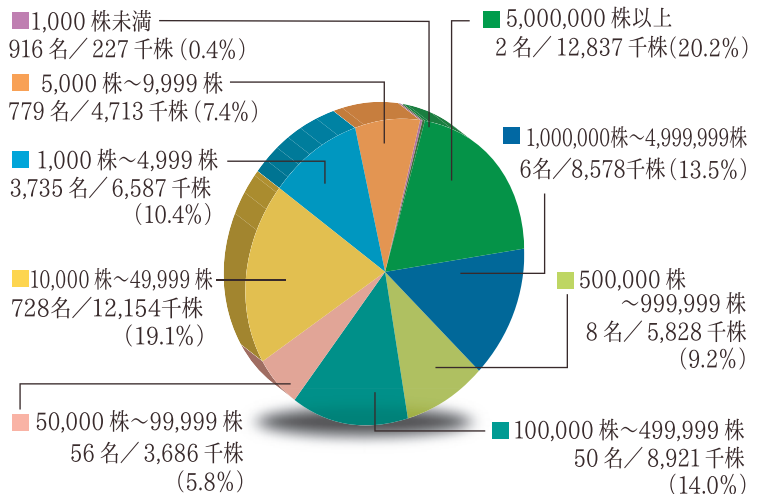


3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 6,280名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 6,280名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

Company Profile

会社の概況

| | |
|---------|----------------------------|
| 商号 | エンシュウ株式会社(英文ENSHU Limited) |
| 設立 | 大正9年2月5日 |
| 資本金 | 46億4,085万円 |
| 発行済株式総数 | 63,534,546株 |
| 株主数 | 6,280名 |
| 従業員数 | 1,036名(連結) |
| 生産品目 | 工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機 |

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

| | |
|---|-----------------|
| ENSHU (USA) CORPORATION | (アメリカ・シカゴ) |
| ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I | (メキシコ・ケタロ) |
| ENSHU GmbH | (ドイツ・フランクフルト郊外) |
| ENSHU (Thailand) Limited | (タイ・バンコク) |
| BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd. | (タイ・バンコク) |
| PT.ENSHU INDONESIA | (インドネシア・ジャカルタ) |
| ENSHU (QINGDAO) LIMITED | (中国・青島) |
| ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD. | (中国・青島) |
| ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office | (中国・蘇州) |
| ENSHU INDIA PVT Ltd. | (インド・グルガオン) |
| ENSHU VIETNAM Co.,Ltd. | (ベトナム・ハノイ) |

取締役体制

(平成29年6月29日現在)

| | |
|--------------|------|
| 代表取締役社長 | 山下晴央 |
| 代表取締役 | 勝倉宏和 |
| 社外取締役 | 墨岡良一 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 中村泰之 |
| 社外取締役(監査等委員) | 石塚尚 |
| 社外取締役(監査等委員) | 嶋津忠彦 |

執行役員体制

(平成29年6月29日現在)

| | |
|----------------------------------|------|
| 社長執行役員 | 山下晴央 |
| 副社長執行役員(兼管理本部長) | 勝倉宏和 |
| 上席執行役員(工作機械・レーザー事業部長) | 鈴木敦士 |
| 上席執行役員(工作機械・レーザー事業部副事業部長) | 富田敏弘 |
| 上席執行役員(工作機械・レーザー事業部副事業部長兼企画開発部長) | 鈴木利夫 |
| 上席執行役員(輸送機器事業部長) | 松永浩一 |

株主メモ

| | |
|------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 剰余金の配当の基準日 | |
| (期末配当) | 3月31日 |
| (中間配当) | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| | なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。 |
| 単元株式数 | 1,000株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 事務取扱場所 | みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 公告方法 | 電子公告 (http://www.enshu.co.jp/koukoku/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株式の上場 | 東京証券取引所市場第一部 |

| | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合) |
|---------------------------------------|--|--|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | | フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00) |
| 各種手続お取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等) | お取引の証券会社等になります。 | みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 |
| 未払配当金のお支払 | みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) | |
| ご注意 | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 |

単元未満株式(1～999株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】
証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。

ホームページのご案内

この度、当社ホームページをリニューアルいたしました。

当社はインターネット上で最新の情報を皆様へ提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>

